DAINICHI

取扱説明書

ブルーヒーター
FW-3350LD

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。
- 同梱の「ご愛用者アンケートはがき」は必ずご投函ください。

[強制通気形開放式石油ストーブ]

目次

ご使用前

使用方法

点検・その他

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の３段階に区分しています。

区分	内容
⚠ 危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う危険、また火災・やけどの危険が高いと考えられる場合
⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、また火災・やけどの可能性が考えられる場合
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表わします。
（マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています。）

マーク	意味
禁止	絶対に行わないでください。
接触禁止	絶対に触れないでください。
分解禁止	絶対に分解修理・改造はしないでください。

⚠ 危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

ガソリン厳禁

⚠ 警告

スプレー缶厳禁

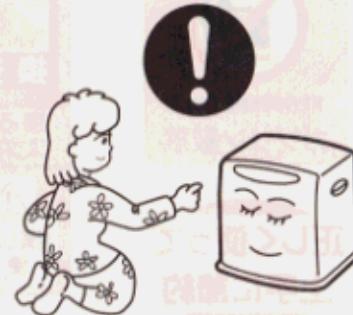
殺虫剤などのスプレー缶を温風のあたるところに放置しないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの（ベンジン、シンナー）、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

ご使用前　安全のために必ずお守りください

⚠警告

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口、燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。異常燃焼や火災の原因になります。

換気必要

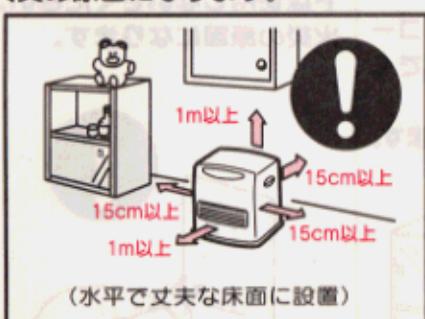
換気せずに使用しつづけないでください。酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。窓の凍結、地下室など換気が充分に行えない場所では使用しないでください。

⚠注意

1 設置

可燃物との距離を離す

図に示すファンヒーターの周囲には可燃物を置かないでください。火災の原因になります。

（水平で丈夫な床面に設置）

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。火災が発生するおそれがあります。

人があたたまる目的以外使用禁止

衣類の乾燥や、動・植物の育成・栽培、人のいない場所では使用しないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- カーテンなど可燃物のそば
- 振動の激しい場所
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 風のあたる場所、部屋の出入口(人通りの多い場所など)
- 屋外
- 人のいない場所（温室、飼育室など）
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所

火災の原因になります。

- 窓の凍結などのため、換気が充分に行えない場所
- 暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
- ほこり、湿気、金属粉の多い場所
- 標高1,000m以上の高地

不完全燃焼の原因になります。

- 直射日光のあたる場所
- 理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所
  （フロンガス、塩素系溶剤、シリコン、ヘアートリートメント製品を使用する場所）

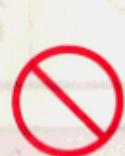
故障や予想しない事故が発生する原因になります。

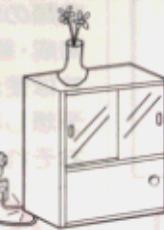
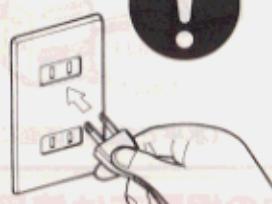
安全のために必ずお守りください

⚠注意

2 使用時

移動に注意
ファンヒーターを持ち運ぶときは、火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

異常時使用禁止
におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

ファンフィルターは必ず使用
ファンフィルターを取り外した状態では使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重いものを乗せたりしないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。

小さいお子さまに特にご注意いただきたいこと

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は温風吹出口に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない
温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

本体内に手や物を入れないで
温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に手や可燃物・針金などの異物を入れないでください。けがややけどを負ったり、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

3 給油時

給油時消火
給油は必ず消火してから行ってください。
火災のおそれがあります。

油漏れ確認
口金は確実に閉めてください。
口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。
口金を斜めに閉めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

居室内給油禁止
給油は必ず火の気のないところで行ってください。
火災のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管

ほこりの除去
ファンフィルターは週に１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカートリッジタンク、油受皿の灯油を抜き、傾けたり横倒しにしないでください。
火災のおそれがあります。

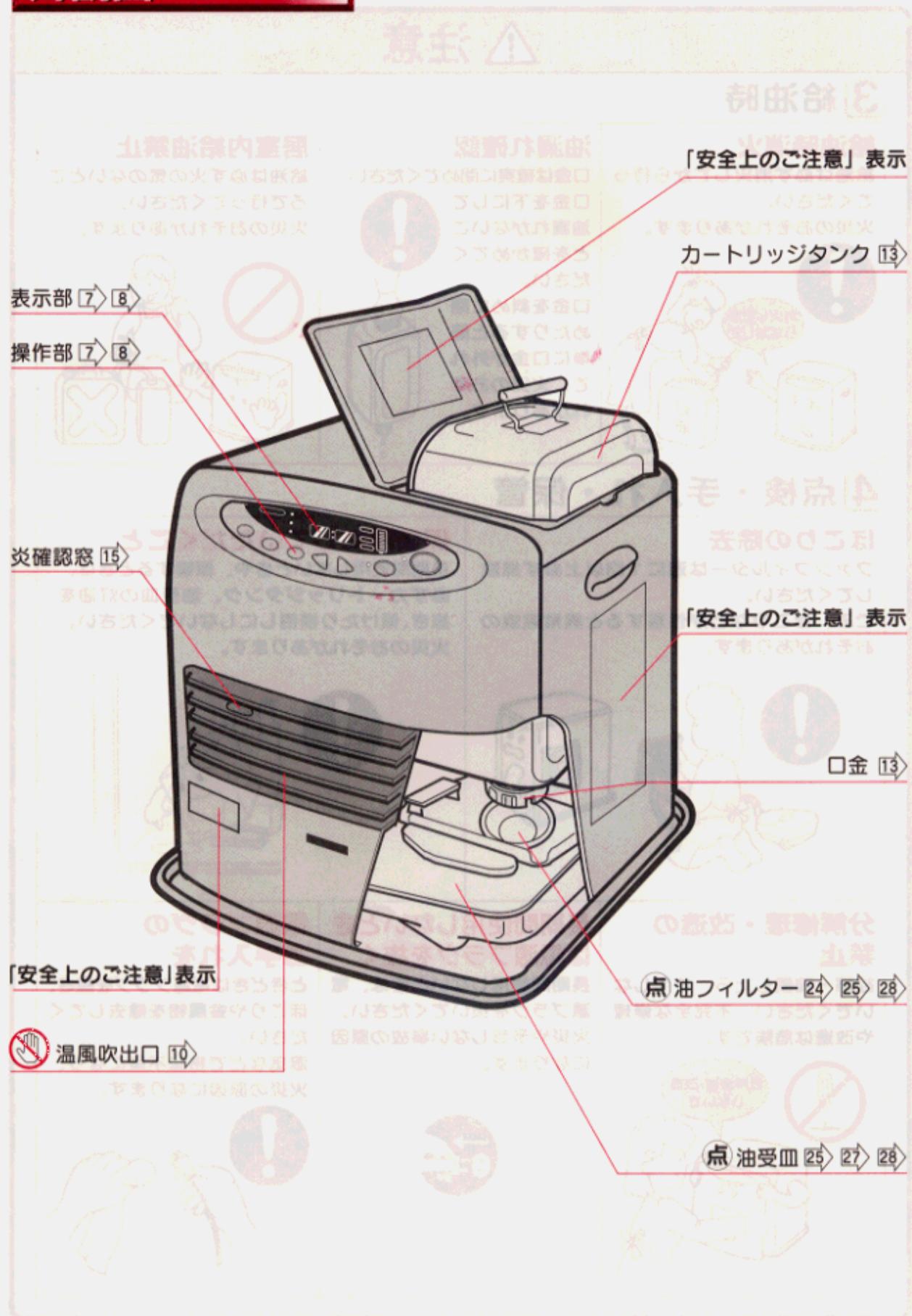
分解修理・改造の禁止
故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

電源プラグのお手入れを
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

各部のなまえ

外観図

「安全上のご注意」表示
カートリッジタンク 13
表示部 7 8
操作部 7 8
炎確認窓 15
「安全上のご注意」表示
口金 13
「安全上のご注意」表示
点 油フィルター 24 25 28
温風吹出口 10
点 油受皿 25 27 28

このマークの中の数字は詳しい説明のあるページです。

「安全上のご注意」表示

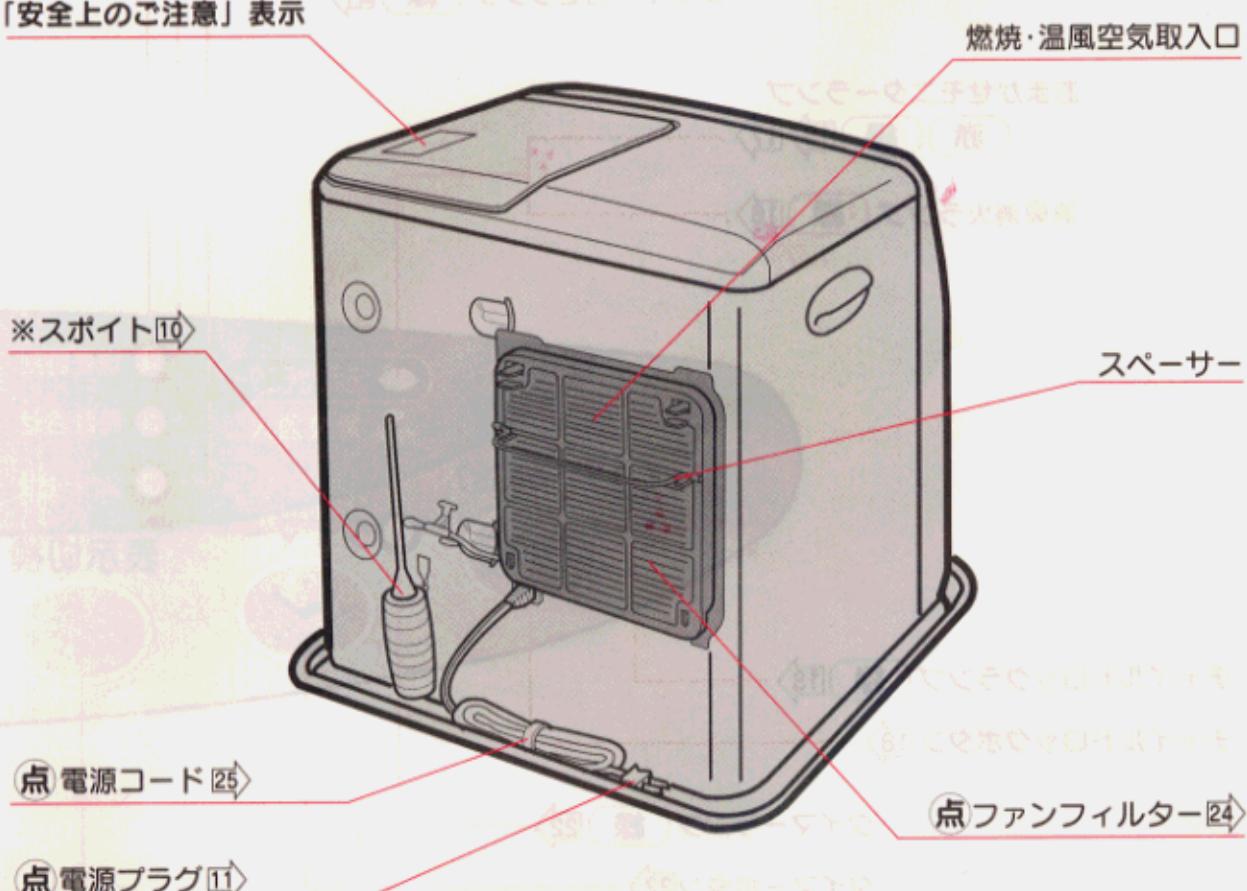
燃焼・温風空気取入口

※スポイト 10

スペーサー

点 電源コード 25

点 電源プラグ 11

点 ファンフィルター 24

※スポイトは図の位置にセットしておくと便利です。

運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

ご使用前

各部のなまえ

お守りください

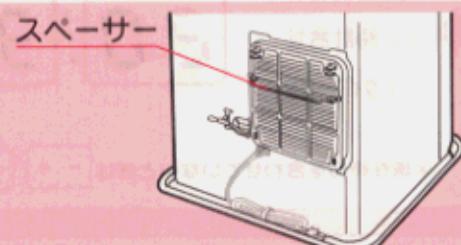
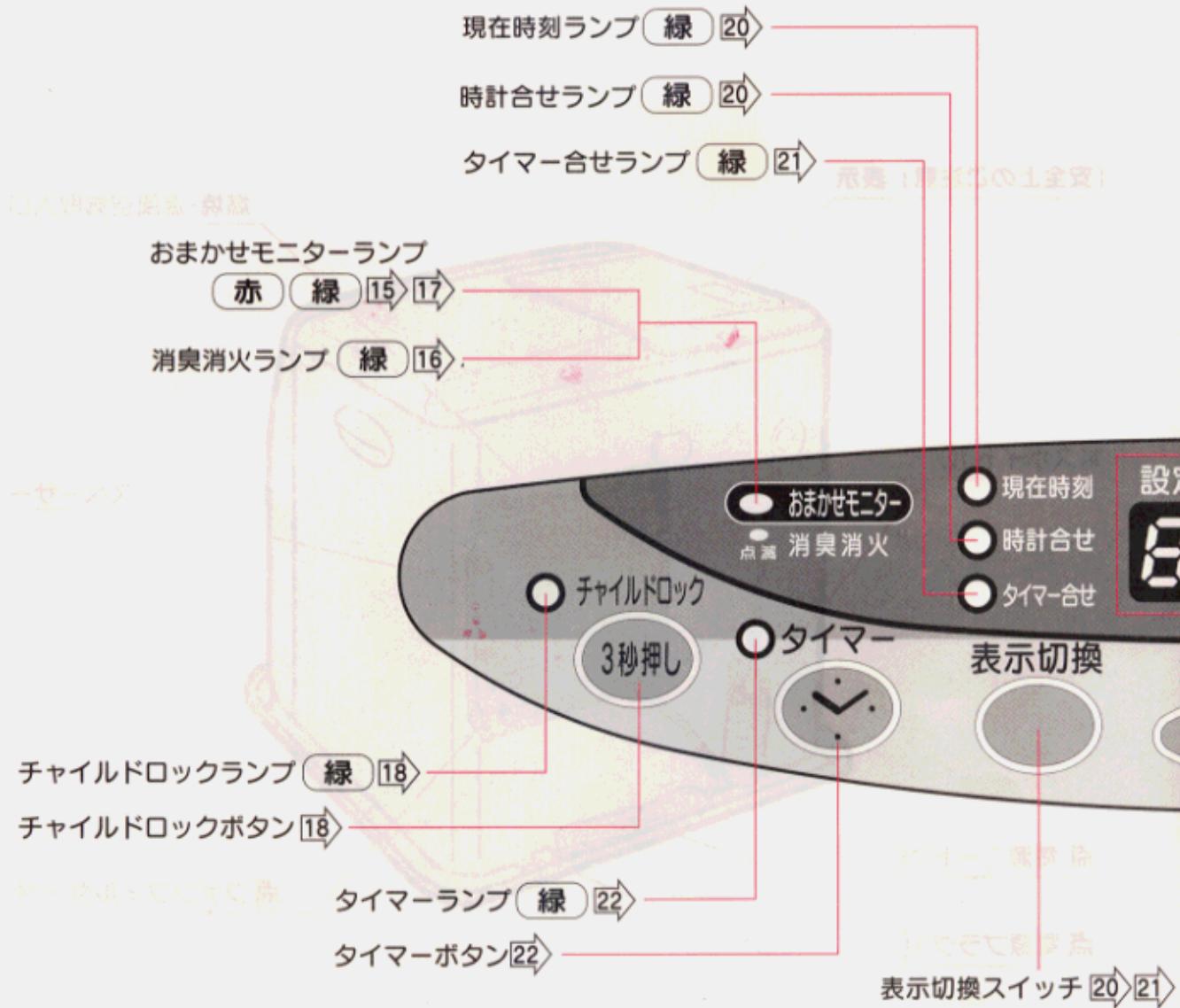
スペーサーは水平に倒してお使いください。

カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぎます。

各部のなまえ

操作部・表示部

現在時刻ランプ（緑）20
時計合せランプ（緑）20
タイマー合せランプ（緑）21
おまかせモニターランプ（赤）（緑）15 17
消臭消火ランプ（緑）16
チャイルドロックランプ（緑）18
チャイルドロックボタン 18
タイマーランプ（緑）22
タイマーボタン 22
表示切換スイッチ 20 21

おまかせモニター
点滅 消臭消火
チャイルドロック
3秒押し
タイマー
表示切換
現在時刻
時計合せ
タイマー合せ
設定

表示部の説明

表示部は**表示切換スイッチ**を１回押すごとに、1～4の順で切り換わります。

1 現在時刻表示 20

● 現在時刻
○ 時計合せ
○ タイマー合せ

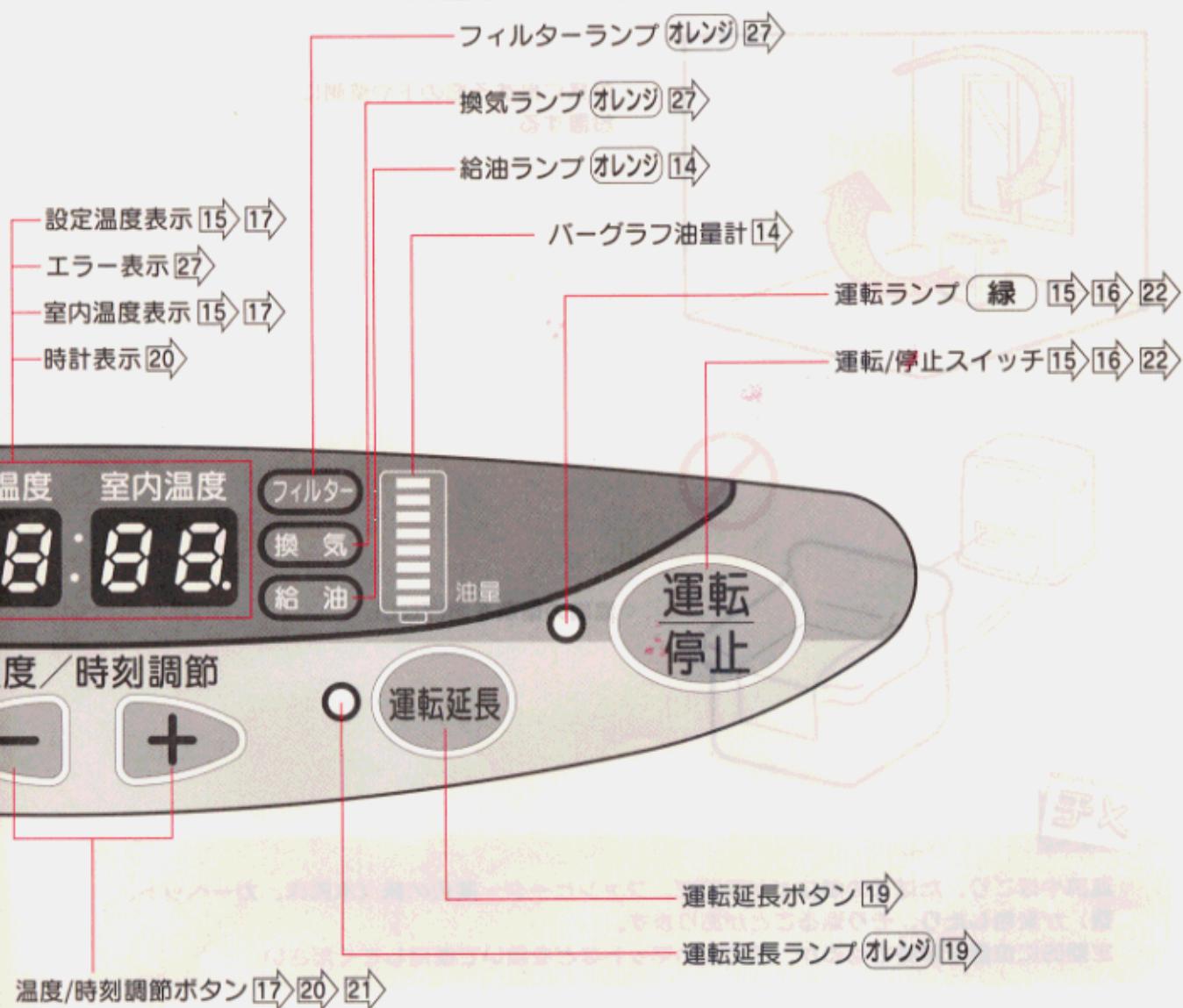
設定温度 20 : 室内温度 30

2 時計合せ表示 20

○ 現在時刻
● 時計合せ
○ タイマー合せ

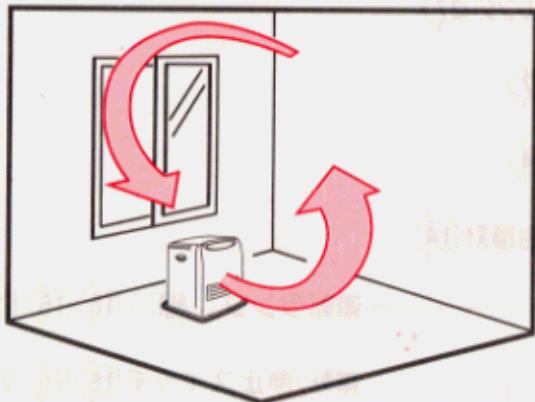
設定温度 20 : 室内温度 30

※現在時刻を合わせていないときは になります。

※図は説明のため全部点灯した状態です。
使用上、全部点灯することはありません。

フィルターランプ（オレンジ）27
換気ランプ（オレンジ）27
給油ランプ（オレンジ）14
バーグラフ油量計 14
設定温度表示 15 17
エラー表示 27
室内温度表示 15 17
時計表示 20
運転ランプ（緑）15 16 22
運転/停止スイッチ 15 16 22
運転延長ボタン 19
運転延長ランプ（オレンジ）19
温度/時刻調節ボタン 17 20 21

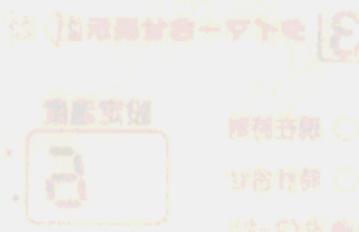
ご使用前
各部のなまえ

使用する場所

効果的に使用するために

○外気に接する窓の下や壁側に設置する。

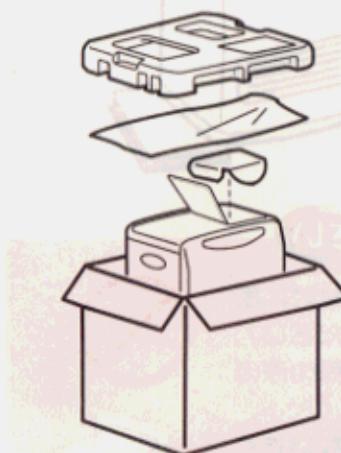
○温風の循環を妨げない。

メモ

○温風やほこり、たばこの煙などが原因で、ファンヒーター周辺の床（木質床、カーペット、畳）が変色したり、そり返ることがあります。
定期的に位置を移動させるか、熱に強いマットなどを敷いて使用してください。

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

1 梱包材等を取りのぞき、ファンヒーターを取り出す

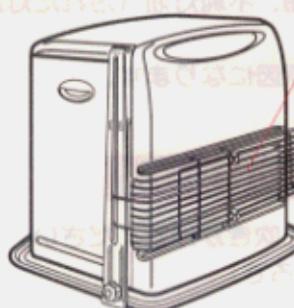
付属品

同梱のスポイトは本体背面の指定の位置にセットしておくと便利です。6

○**スポイト**
本体内の灯油や水を抜くときに使用します。大切に保管してください。25

お守りください

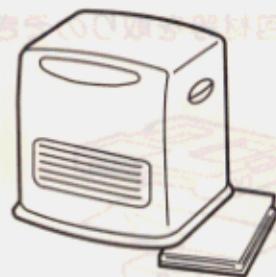
○梱包材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

吹出口ガード(別売)を用意しています。

○お子さまなどが高温の温風吹出口に触れるのを防止します。
○ご購入はファンヒーターをお買い上げの販売店にお問い合わせください。
○90年度(平成２年度)製品より全機種共通で使用できます。(FL・FBタイプは除く。)
○ガードの説明書に従って、正しく取りつけてください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

ファンヒーターが傾いた状態では使用しないでください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。

○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

燃　料

燃料は必ず灯油(ＪＩＳ１号灯油)を使用してください

ガソリン、変質灯油、不純灯油（汚れた灯油、水の混入した灯油など）は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。

灯油とガソリンの見分け方

指先につけて、息を吹きかけてください。
(火の気のないところで)

灯油の場合	ガソリンの場合
濡れたまま	すぐ乾く

■正しい灯油の保管方法

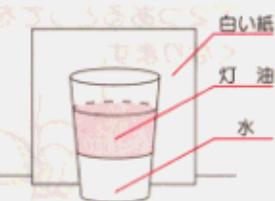
○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管する。
○容器のフタをしっかり閉める。
○容器は必ず灯油専用のものを使用する。
○色のついた容器を使用する。
（乳白色の容器は変質しやすくなります。）

変質灯油・不純灯油とは

■変質灯油

○昨シーズンより持ち越したもの。
○高温の場所で長期間保管したもの。
○日光のあたる場所で長期間保管したもの。

変質灯油の見分け方

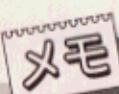
水より少しでも色がついていたり、すっぱいにおいのするものは変質灯油です。

■不純灯油

○灯油以外の油（ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油、灯油添加剤など）がほんの少しでも混入したもの。
○水やごみがわずかでも混入したもの。
○灯油水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

変質灯油や不純灯油を使用したときの症状

○においが強くなる。
○黄色い炎が混じる。15
○火力が上がらない。
○消火しにくい。
○着火しにくい。

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置方法

○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内を洗ってからご使用ください。24 25
○着火·消火を５回程度繰り返してください。
（少しにおいがしますので、換気を充分に行ってください。）
○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。29

○変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

使用前の準備

給油のしかた

1 カートリッジタンクを取り出す

○カートリッジタンクを持ち運ぶときは上下2つあるとってを利用すると、持ちやすくなります。

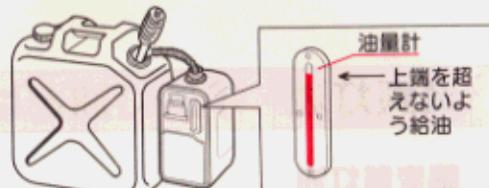
2 口金を外す

○口金の外側を持って回すと手が汚れにくく、口金が外しやすくなります。

口金が外しにくいとき

○下図のように、口金外側の凹部に指をひっかけて矢印の方向に回すと、簡単に口金が外せます。

3 給油する

○灯油をこぼさないように注意し、油量計の上端を超えないよう給油します。

4 口金を確実に閉める

○こぼれた灯油は完全に拭き取ってください。
○口金を下にしても油漏れがないことを確認してください。

5 カートリッジタンクをセットする

○バーグラフ油量計のバーが点灯します。
○カートリッジタンクをセットした後、ファンヒーターを運んだり、ゆすったりすると、口金の外側が灯油でぬれる場合があります。

お守りください

○4ページ「安全のために必ずお守りください」の「3 給油時」をよく読み、注意してください。
○給油時、口金をぶつけないよう、取り扱いに注意してください。
口金が変形すると油漏れのおそれがあります。
○カートリッジタンクは静かに入れてください。落とすように強く入れると、バーグラフ油量計の精度が悪くなるおそれがあります。

給油の合図

便利な機能

■バーグラフ油量計

○灯油の残量表示

1本ずつ消灯します。
（8段階）

8段階のバーグラフで灯油の残量を確認できます。

○給油の合図

残り約1時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に**電子音**が鳴って、灯油が残り少ないことをお知らせします。ピッピッ

○**運転**を開始するため**運転/停止スイッチ**を押したとき
○運転中に**運転延長ボタン**を押したとき
○タイマー運転をセットしたとき

■給油2段階サイン

○給油の合図を2回に分けて**電子音と給油ランプ**の点滅でお知らせしますので、手が離せないときもあせらず給油が行えます。ピーピー

1回目のお知らせ

○カートリッジタンクの灯油がなくなると、**給油ランプ**がゆっくりと点滅し、**電子音**が鳴ります。

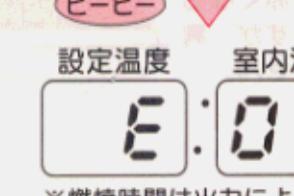
2回目のお知らせ

○油受皿の灯油が残り少なくなると、**給油ランプの点滅**が速くなり、**電子音**が鳴って火力が小さくなります。ピーピー

（設定温度が Hi のときは、最大火力で燃焼します。）

○そのまま使用しつづけると、油受皿の灯油がなくなり、"E 03"を表示して自動消火します。

［使用状況などにより2回目のお知らせと同時に消火することがあります。］

設定温度　室内温度
E : 03　給 油

※燃焼時間は火力によって異なります。

自動消火したとき

○給油を行い、**運転／停止スイッチ**を押すと、運転を再開します。

○給油2段階サイン中に電源プラグを抜いたり停電したときは、次回運転時は2回目のお知らせからとなります。また、燃焼時間は前回の使用状況により異なります。

ご使用前　使用前の準備

使用方法

このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

運転開始

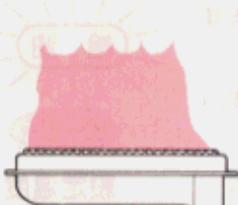
1 運転/停止スイッチを押す

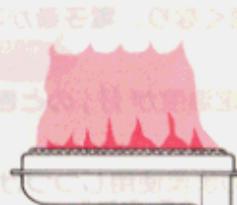
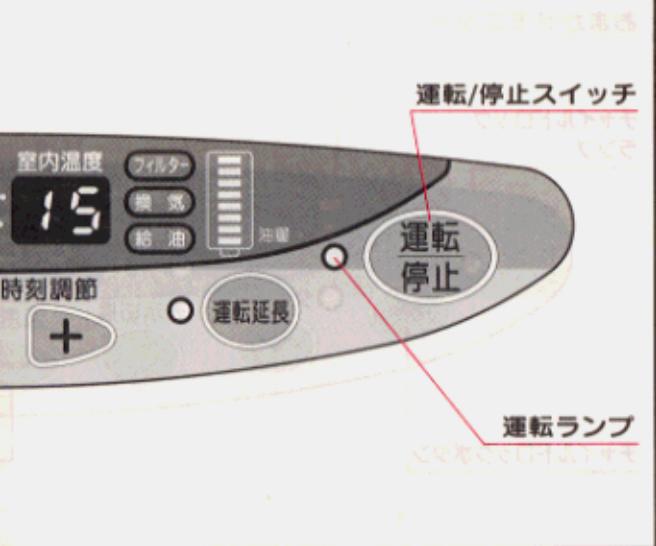
○運転ランプとおまかせモニターランプが点灯し、設定温度と室内温度を表示します。
・設定温度がLoまたはHiのときは、おまかせモニターランプは点灯しません。
・室内温度は1℃から表示し、0℃以下のときはLoを表示します。
○約35秒後に着火します。

2 炎の状態を確認する

ときどき炎確認窓をのぞき、燃焼状態を確認してください。

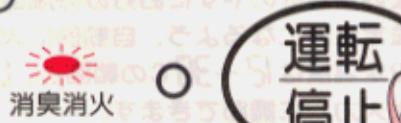
●正常燃焼

青い炎で燃焼します。バーナの網が赤くなることがありますが、異常ではありません。

●異常燃焼

青い炎の中に常に黄色い炎が現れます。その際、処置を行ってください。28

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙やにおいが出ることがあります。
しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。
1時間ほどでおさまります。

運転停止

1 運転/停止スイッチを押す

運転/停止スイッチを押すと、約６秒間消臭消火ランプ（緑）が点滅し消火します。

必ず火が消えたことを確認してください。

消臭機能

○消火時に発生するにおいの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。
運転/停止スイッチを押すと、約６秒間未燃ガスを燃焼させてから消火します。
このとき消臭消火ランプ（緑）が点滅し、消臭機能が動作していることをお知らせします。

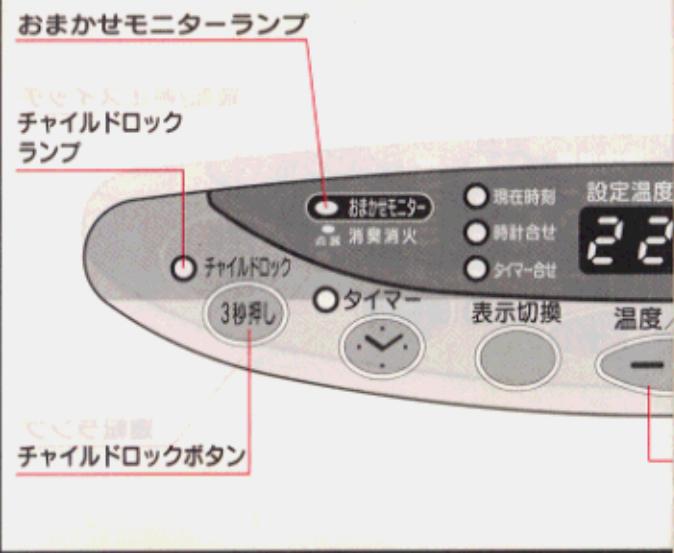
○運転/停止スイッチを押してから、約６秒後に「カタン」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。
また、異常停止や短時間の運転では消臭機能は動作しません。

お守りください

○消火は必ず運転/停止スイッチで行い、運転停止後３分間は、本体内を冷やすため、ファンが回っていますので、電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

運転停止

使用方法

使用方法

このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

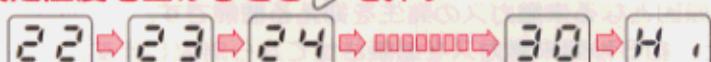
室温の調節

1 温度／時刻調節ボタン（－）または（＋）を押す

設定温度　室内温度
22：21
温度／時刻調節
ピッ

- **室内温度**をめやすにお好みの温度に調節してください。
- **設定温度**になるよう、自動的に火力を調節して燃焼します。
- 設定温度は12～30℃の範囲と、Lo（常に小火力）、Hi（常に大火力）に調節できます。
- **温度／時刻調節ボタン**を１回押すごとに１℃ずつ変わります。

設定温度を下げるとき（－）を押す

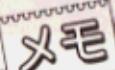
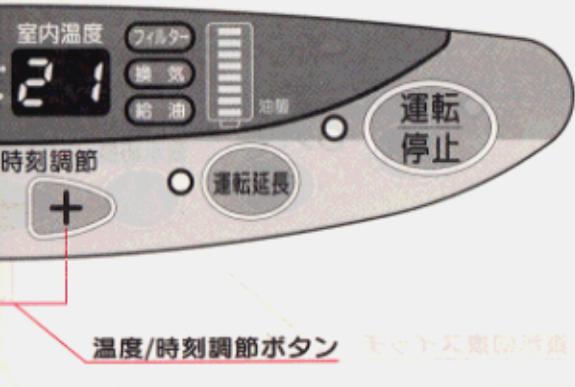
設定温度を上げるとき（＋）を押す

便利な機能

おまかせモニターランプ

室温の状態をランプでお知らせします。
（設定温度がLoまたはHiのときは、点灯しません。）

おまかせモニター

緑	ランプ点灯	快適温度
赤	ランプ点灯	快適温度に達していない、または快適温度を超えている

メモ

- 狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは外気温が比較的高いときに室温が設定温度より上がることがあります。そのときは運転を停止してください。
- 室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。

チャイルドロックの使い方

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。

1 チャイルドロックボタンを約３秒間押す
（ピッと鳴るまで）

チャイルドロックランプが点灯します。

チャイルドロックを解除したいとき

1 チャイルドロックボタンを約３秒間押す
（ピッと鳴るまで）

チャイルドロックランプが消灯します。

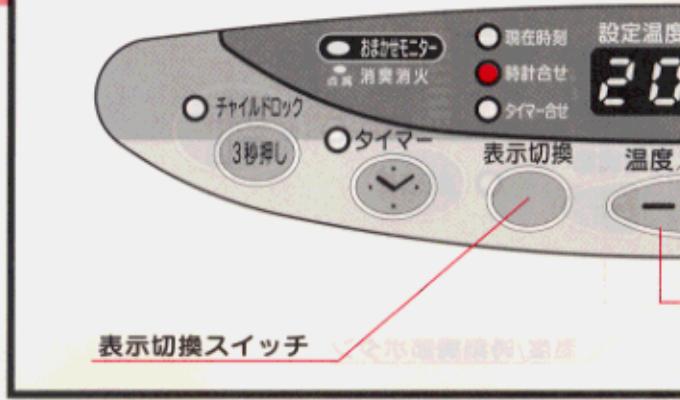
チャイルドロックにすると

運転中

○運転停止と運転延長のみ操作できます。

停止中

○すべての機能が操作できなくなります。

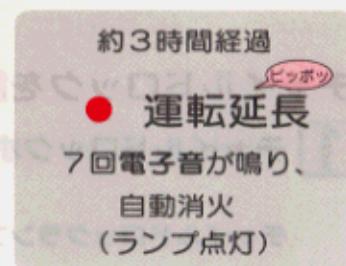
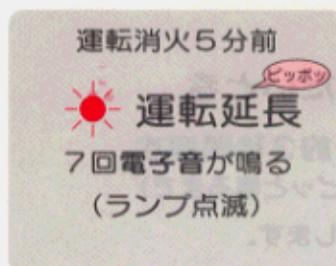
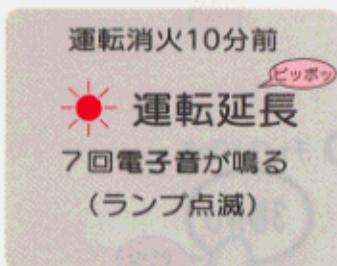
使用方法

このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

消し忘れ消火装置と運転延長

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、燃焼開始後約３時間で自動消火します。
（使用状況によって、３時間より少し早く消火する場合があります。）

燃焼残り時間のお知らせ

約３時間で自動消火する前に、運転延長ランプと電子音でお知らせします。

運転消火10分前	運転消火５分前	約３時間経過
運転延長	運転延長	運転延長
７回電子音が鳴る（ランプ点滅）	７回電子音が鳴る（ランプ点滅）	７回電子音が鳴り、自動消火（ランプ点灯）

自動消火せずに運転を継続したいとき

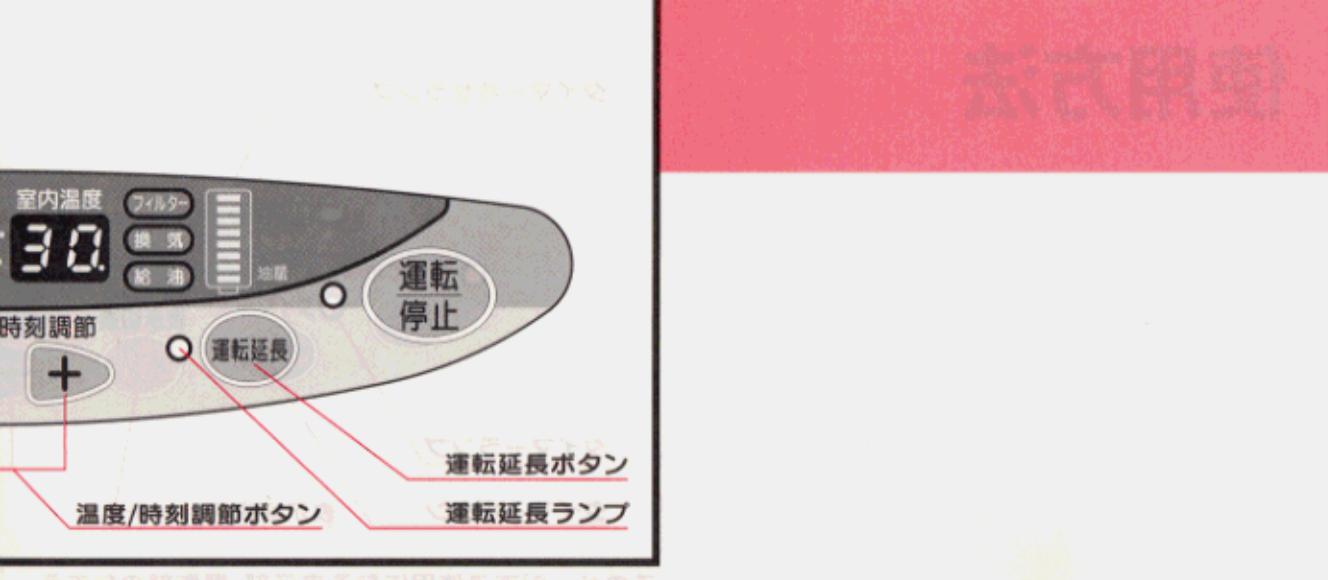
1 運転中に運転延長ボタンを押す

ボタンは消火10分前に限らず、ボタンを押したときから
さらに約３時間、運転を継続します。

お守りください

○寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転/停止スイッチで消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

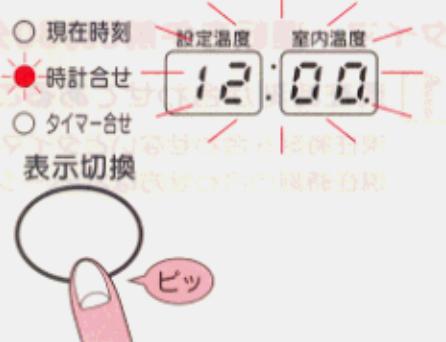
消し忘れ消火装置と運転延長

使用方法

現在時刻の合わせ方

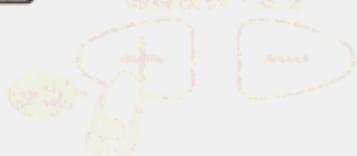
時計として使うときやタイマー運転を使用するときは、時刻を合わせてください。
時計合わせは、運転中にも行えます。

現在時刻を午後8時30分に合わせるとき

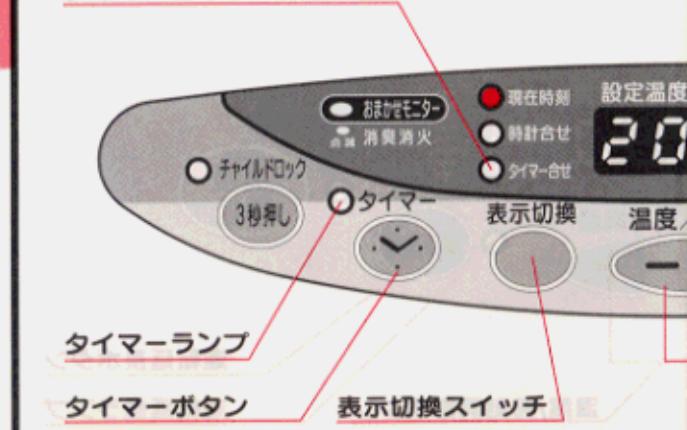
1 表示切換スイッチを押し、時計合せ表示にする

（時計合せランプ・時計表示点滅）⑦⑧

2 温度／時刻調節ボタン − または ＋ を押し、現在時刻を合わせる

- 時計は0:00から23:59を表示します。
- 時計を進めるときは＋を押し、戻すときは−を押してください。
- １回押すごとに１分単位で変わります。
- −または＋を押しつづけると早送りができます。しばらく押しつづけると10分単位で変わります。

3 表示切換スイッチを押し、現在時刻表示にする

現在時刻の合わせ方

使用方法

使用方法

このページでご使用になる表示部・操作部のなまえ

タイマー運転の使い方

タイマー運転を使用するときは、時刻を合わせてください。
時計合せ・タイマー合せは、運転中にも行えます。

タイマー運転を午前6時30分に合わせるとき

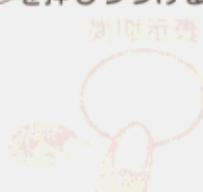
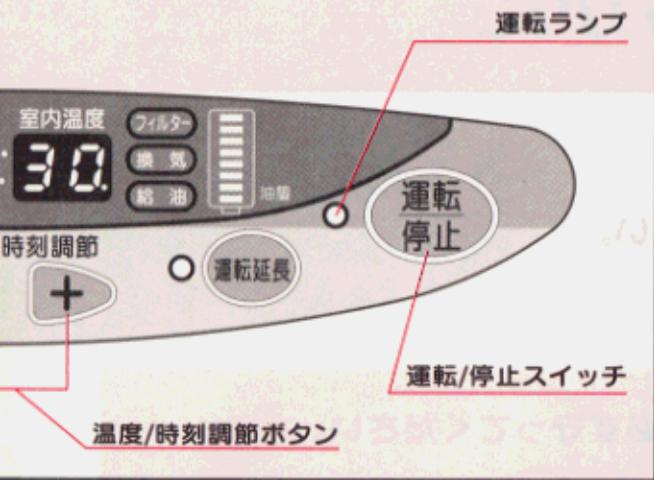
1 現在時刻が合わせてあることを確認する

現在時刻を合わせないとタイマー運転はできません。
現在時刻の合わせ方は20ページを参照してください。

2 表示切換スイッチを押し、タイマー合せ表示にする 7 8
（タイマー合せランプ・時計表示点滅）

3 温度／時刻調節ボタン − または ＋ を押し、タイマー運転時刻を合わせる

○時計を進めるときは＋を押し、戻すときは−を押してください。
○１回押すごとに１分単位で変わります。
○−または＋を押しつづけると10分単位で変わります。

タイマー運転の使い方
使用方法

4 運転/停止スイッチを押し、運転状態にする（運転ランプ点灯）

運転中は押す必要はありません。

5 タイマーボタンを押す

運転ランプが消灯し、**タイマーランプ**が点灯すると、セットが完了します。

> タイマーセットをしてから**運転/停止スイッチ**を押すと、タイマー運転が解除されますのでご注意ください。

6 セットした時刻になると運転開始

安全のため、タイマー運転開始後１時間で自動消火します。
消火10分前、５分前、消火直前に電子音でお知らせします。

１度タイマー運転時刻を合わせると、次回からは4、5を行うだけで同じ時刻に運転が開始できます。

自動消火せずに運転を継続したいとき

タイマーボタンを押すと、タイマー運転が解除され、運転を継続します。

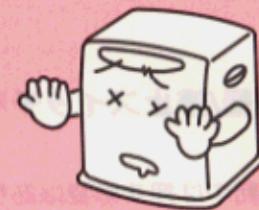
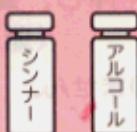
こんなときどうする？

	タイマー待機中	タイマー燃焼中
タイマー運転の解除	**運転/停止スイッチ**を押す。 （**タイマーランプ**が消灯）	**タイマーボタン**を押す。 （運転の継続）
停電した	再度現在時刻を合わせ、タイマー運転のセットをやり直す。	**停電安全装置**が作動し消火。27
地震があった	もう１度4からやり直す。	**対震自動消火装置**が作動し消火。27

点検・手入れのしかた

定期的に次の点検･手入れを行ってください。

お守りください

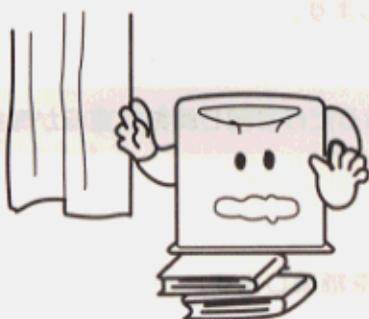
点検･手入れを行うときは、次のことを必ず守ってください。

運転を停止させ、ファンが止まってから電源プラグを抜く。

本体が冷えてから行ってください。
運転を停止しないと、火災ややけどのおそれがあります。

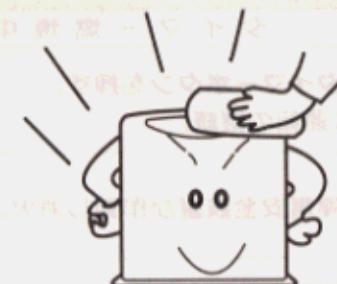
本体の汚れを拭き取るとき、シンナー･アルコール類は使用しない。

火災のおそれがあります。
特に汚れのひどい部分は、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。

ご使用のたびに

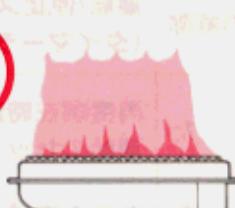
本体の周辺に可燃物はないか

油漏れ、油のたまり、油のにじみはないか

異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

ごみやほこりを拭き取る

異常燃焼を起こしていないか 15

異常があるときは28ページの処置方法に従ってください。

点検・手入れのしかた

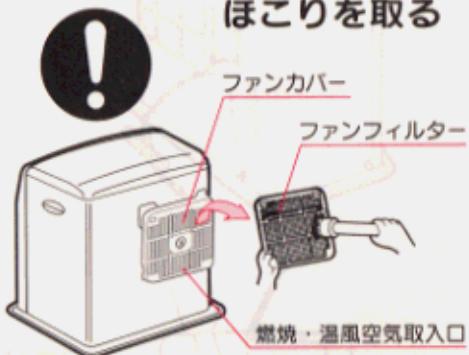
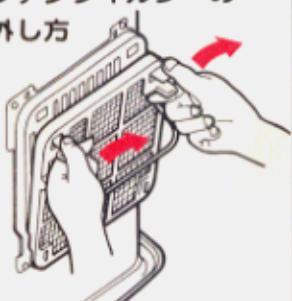
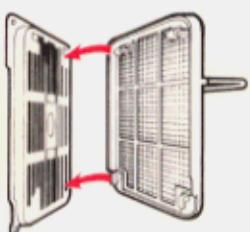
点検・その他

週に１回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

ファンフィルターの外し方

上のツマミを押し、手前に持ち上げる

ファンフィルターの取りつけ方

下のツメをはめてから上部を押す

お守りください

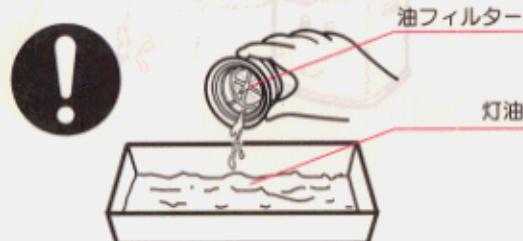
○ファンフィルターをファンカバーに取りつけたまま、掃除機などで強くこするようにすると、ファンフィルターが破損することがあります。
必ずファンカバーからファンフィルターを取り外し、強い力をかけないようにお手入れしてください。

１か月に１回以上は

油フィルターがごみで目づまりしていないか

油フィルターはきれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取りのぞき、布などで灯油を拭き取ったあと、乾燥させてください。

対震自動消火装置の点検

燃焼中にゆすると消火するか確認してください。
消火しない場合は修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。29

油フィルターや油受皿内に水が入っていないか 25 27

付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水を取りのぞき、油フィルターは布などでよく水分を拭き取ったあと、乾燥させてください。

保管のしかた（長期間使用しない場合）

次の手順に従ってファンヒーターを保管してください。

1 電源コードを束ねる

2 油フィルターを取りのぞき、カートリッジタンク内と油受皿内の灯油をすべて抜く

3 ファンフィルターと油フィルターの掃除をする24

4 ファンヒーター本体の汚れを拭き取る23

5 ファンヒーターを箱に入れる

ファンヒーターは、湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○ファンヒーターを傾けたり、横倒しにしないでください。
油漏れなどにより、火災のおそれがあります。
○カートリッジタンク内と油受皿内の灯油は完全に抜き取ってください。
灯油が残っていると変質し、故障の原因になります。
○灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。

故障・異常の見分け方と処置方法

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に1度ご確認ください。

○ 着火時

症　　状	原　　　　　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約35秒必要です。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 2、3回着火動作を繰り返してください。
「ジー」と音がする	着火するための放電音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○ 燃焼時・消火時

症　　状	原　　　　　因
初めて使用するとき煙やにおいが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。しばらくの間、部屋の換気をしながらご使用ください。1時間ほどでおさまります。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
室温を高めに設定しても室温が上がらない	部屋が広すぎる場合に起こります。
室温を低めに設定しても室温が下がらない	狭い部屋や断熱のよい部屋でご使用のとき、あるいは外気温が比較的高いときに室温が設定温度より上がることがあります。そのときは運転を停止してください。
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室温の表示は、室内平均温度のめやすです。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中または消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約6秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音であり、異常ではありません。
バーナの網が赤くなる	青い炎の中に黄色い炎が現れなければ、異常ではありません。

故障・異常の見分け方と処置方法

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現われたときは、適切な処置を行ってください。

表示部(エラー表示)	原　因(安全装置)	処　置　方　法
----	一時停電した、または電源プラグが抜けかかっているため、自動消火した(停電安全装置が作動)	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E01	地震(約震度5以上)や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した(対震自動消火装置が作動)	周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認した後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E02 E03	着火ミスしたり、油フィルターや油受皿内に水やごみがたまったため、自動消火した(燃焼制御装置が作動)	油受皿内の水やごみを取りのぞき、油フィルターは水分をよく乾燥させた後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。(下記 メモ 参照)
E07	室温が異常に高温(40℃以上)になったため、自動消火した(室温異常高温防止装置が作動)	設置方法を確かめ、**運転/停止スイッチ**を押し直す。
E09 フィルター フィルター	燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した(過熱防止装置が作動)	○燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口の障害物を取りのぞき、掃除した後、**運転/停止スイッチ**を押し直す。 ○処置を行っても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。29
E 13 換気	密閉した部屋で使用した場合、不完全燃焼(部屋の空気の異常状態)を防止するため、自動消火した(不完全燃焼防止装置が作動)	部屋の空気を入れ替えてから**運転/停止スイッチ**を押し直す。(使用中は必ず1時間に1～2回換気する)
運転延長ランプ点　灯(19ページ参照)	燃焼を開始してから約3時間が経過したため、自動消火した(消し忘れ消火装置が作動)	**運転/停止スイッチ**を押し直す。
運転ランプ点滅 運転延長ランプ点滅 Err点灯	**運転/停止スイッチ**が押しつづけられたため、自動消火した	表示・操作部周辺の障害物を取りのぞき、コンセントを入れ直してから**運転/停止スイッチ**を押し直す。
F00～F 10	修理・点検が必要な故障です	表示内容を控えた後、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。29

油受皿内への水混入について

タンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりタンク内に水がたまり、油受皿に流入する場合があります。水が混入すると、**給油ランプ点滅**や"E02"・"E03"などの異常停止の原因になります。その際は水を取りのぞいてください。25

症　状	原　因	処　置　方　法
運転を開始しない	チャイルドロックがセットされている	チャイルドロックを解除する。18
給油ランプの点滅が止まらない	灯油がなくなった	給油する。13
	カートリッジタンクが変形している	カートリッジタンクを新しいものと交換する。裏表紙
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている	付属のスポイトで油フィルターや油受皿内の水やごみを取りのぞく。油フィルターは水分をよく乾燥させる。(下記 メモ 参照)
火力が上がらない	給油ランプが点滅している	
	給油ランプが点滅している	給油する。13
	変質灯油・不純灯油を使用した	○油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。 ○着火・消火を５回程度繰り返す。(少しにおいがしますので、換気を充分に行ってください。)
異常燃焼を起こす 15	変質灯油・不純灯油を使用した	
	部屋の換気が不充分	換気を充分に行う。
	ファンフィルターにほこりがたまった	ファンフィルターの掃除をする。24
においが強い	灯油がなくなった	給油する。13
	変質灯油・不純灯油を使用した	油受皿やタンク内の灯油を抜き、きれいな灯油で洗う。
	灯油がこぼれたり、漏れている	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。29
油が漏れている	カートリッジタンクを入れたまま移動した	
	不純灯油を使用した	

給油ランプの点滅時について
(カートリッジタンクを抜き、油フィルターを確認する)

油フィルターに灯油がたまっている場合

→ 油フィルターを持ち上げたとき、灯油が水滴のように落ちる。または全く落ちない。
→ **目づまりしています。**
水やごみがたまっていると、灯油が落ちません。油フィルターを灯油で洗い、布などでよく水分を拭き取ったあと、日陰に置いて乾燥させてください。
それでも直らないときは新しいものと交換してください。

→ 油フィルターを持ち上げたとき、灯油が糸を引くように落ちる。(10秒位)
→ **ファンヒーターの故障です。**
運転を停止し、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。29

油フィルターに灯油がたまっていない場合

→ 口金、またはカートリッジタンクを新しいものと交換してください。裏表紙

お守りください

- 処置を行っても直らないときや、上記以外のエラー表示が出たときは故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。29
- 故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

アフターサービス

アフターサービスの依頼

点検・修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。
裏表紙

アフターサービスを受ける際は、次の事項をご連絡ください。

品名	ダイニチブルーヒーター
型式の呼び	30ページ 仕様 に記載
お買い上げ日	保証書に記載
症状	エラー表示など、できるだけ詳しく

お守りください

修理などでファンヒーターを移動する場合は、必ず油受皿内の灯油を抜いてください。灯油がこぼれると火災の原因になります。25

保証について

保証書

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は３年間です。修理の際は保証書をご提示ください。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。12

保証期間経過後は

販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理致します。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

○本ファンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後６年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。

部品交換について

部品交換が必要な際は、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

お守りください

ファンヒーターの修理・部品交換は、お客様個人では絶対に行わないでください。
けがややけどのおそれがあります。

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回の定期点検をおすすめします。

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者(点検整備士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。（有料）

仕様

型式の呼び		FW-3350LD
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		連続放電点火
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)
燃料消費量	最大	0.344 L/h
	最小	0.072 L/h
暖房出力	最大	3.30 kW(2,840kcal/h)
	最小	0.69 kW(　590kcal/h)
騒音(正面)	大火力	36dB
	小火力	22dB
油タンク容量		9.0L
燃焼継続時間	大火力	26.1時間
	小火力	125.0時間
標準適室	木造	15.0m²(9畳)まで
	コンクリート	20.0m²(12畳)まで
外形寸法 高さ×幅×奥行	置台込	445mm×430mm×357mm
	本体	387mm×310mm
質量		約11.9kg
電源電圧及び周波数		100V　50/60Hz
定格消費電力	最大消費電力	308/308W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時消費電力	134/134W(大火力時)
		68/　68W(小火力時)
安全装置		不完全燃焼防止装置、停電安全装置、燃焼制御装置 対震自動消火装置、過熱防止装置、消し忘れ消火装置
その他の装置		室温異常高温防止装置
付属品		スポイト

別売部品のご注文について

次の別売部品を破損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文ください。
その際は型式名、別売部品名をはっきりとお伝えください。

カートリッジタンク
※(タンク)口金付
¥5,500

(タンク)口金
¥800

油フィルター
¥500

ファンフィルター
¥1,000

スポイト
¥165

価格は本ファンヒーターの別売部品の価格です(税別)。
他の機種はこの限りではありません。
また、価格は予告なく変更することがあります。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟県白根市大字北田中780-6
ホームページ http://www.dainichi-net.co.jp/

東京営業所	〒101-0021	千代田区外神田2-13-7 ダイニチ神田ビル	☎03(3258)3841㈹
大阪営業所	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2-6-6	☎06(6330)1431㈹
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3-1-15	☎022(235)8621㈹
新潟営業所	〒950-1295	新潟県白根市大字北田中780-6	☎025(362)1140㈹
北陸営業所	〒939-8064	富山市赤田815-1	☎076(422)6763㈹
高崎営業所	〒370-0043	群馬県高崎市高関町345	☎027(328)0501㈹
宇都宮営業所	〒320-0838	宇都宮市吉野2-1-12	☎028(636)9411㈹
名古屋営業所	〒461-0028	名古屋市東区東大曽根町本通7-789-1 第一生命ビル	☎052(721)6677㈹
広島営業所	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-4-25	☎082(875)8851㈹
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町16-24 第六よしみビル	☎092(474)0731㈹

修理に関するお問い合わせは(30ページに記載の型式の呼びをご確認のうえ)
アフターサービスご相談窓口へ　フリーダイヤル☎0120-468-110
(携帯電話、自動車電話などからは通話できません)　FAX0120-468-220

こんなことでお困りのとき
- 使用方法がよくわからない
- お手入れ方法がよくわからない
- 異常時の対処方法がわからない
- ご転居等で近くに修理してくれるお店がない

受付時間　10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝日は除く）

FW-3350LD・8・17,000・2